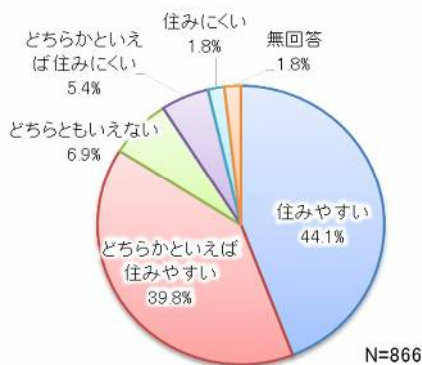


1) 市民意識調査結果概要

■ 調査の概要

対 象	市内在住 18 歳以上の市民 3,000 名
手 法	郵送配布・郵送回収
実施時期	平成 26 年 8 月
回 収 率	28.9% (回答数 866 名)

下野市の住みやすさ



下野市の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」が合わせて **83.9%** となり、その理由としては医療機関の充実や自然環境の良さなどが挙げられました。

特に女性は、男性よりも「住みやすい」という回答が多くなっています。

行政施策の満足度

■ 「満足」「やや満足」を足した割合 上位 5 位

1 位. 医療体制	(53.2%)
2 位. 上水道の整備	(50.4%)
3 位. 下水道の整備	(47.3%)
4 位. ごみ処理・リサイクル	(42.0%)
5 位. 消防・防災	(37.3%)

市の 49 の行政施策については、「医療体制」や「上水道の整備」について「満足」「やや満足」が 50% を超えており、これに対して「商業の振興」「公共交通の整備」については「不満」「やや不満」が高くなっています。

■ 「不満」「やや不満」を足した割合 上位 5 位

1 位. 商業の振興	(24.7%)
2 位. 公共交通の整備	(23.8%)
3 位. 保険・年金	(22.2%)
4 位. 観光の振興	(20.0%)
5 位. 市の仕事の効率性	(19.7%)

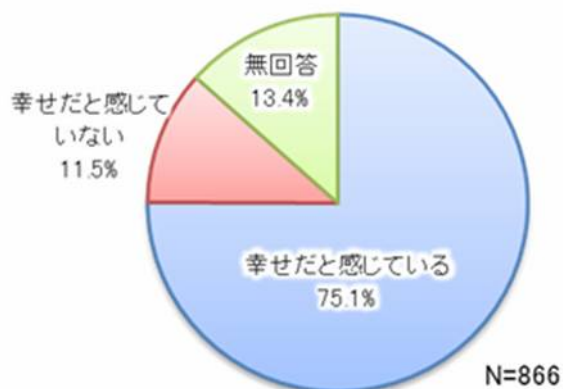
下野市が今後 10 年で目指すべきまち

■ 上位 5 位

1 位. 交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち	(57.5%)
2 位. 水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち	(42.6%)
3 位. 子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち	(40.3%)
4 位. 道路、上下水道などの生活環境が整い便利で暮らしやすいまち	(27.7%)
5 位. 地域での助け合いや人々のつながりを大切にするまち	(25.1%)

下野市が今後 10 年で目指すべきまちとしては「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」が最も高くなっています。次いで「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」「子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち」の順となりました。

下野市民の幸福感について



市民の幸福感については、「幸せだと感じている」の割合が **75.1%**と高くなっています。

性別年代別に見ると、女性全体で **80.1%**、10代～30代の女性は **80.8%**、男性全体では **69.4%**が「幸せだと感じる」と回答しています。

幸せだと感じる理由について

- ・環境が良く、静かで落ち着く。
- ・医療施設が多くあり、病院が近い。
- ・子どもの医療費の補助がある。
- ・事件事故が少なく、治安が良い。
- ・新鮮な野菜が食べられる、美味しい水が飲める。
- ・趣味やボランティアを通して知り合った友人たちと交流できる。 など
- ・不自由なく住みやすい。
- ・公園が多い。
- ・大きな自然災害が少ない。
- ・子どもが元気に育っている。

幸せであるために重要だと思うことについて

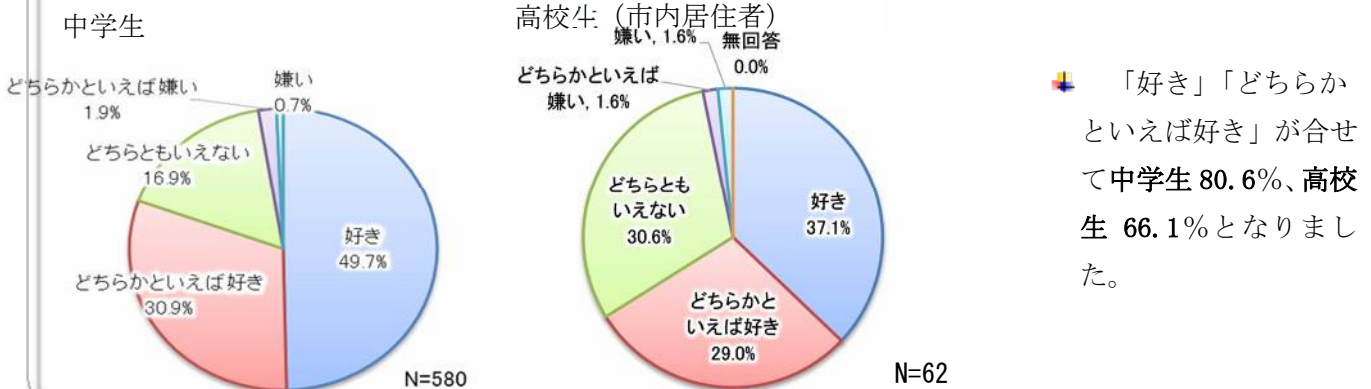
トップ5 (10～30歳代)	順位	トップ5 (40～80歳代)
家計の状況(所得・消費) (58.9%)	1	健康状態 (81.0%)
健康状態 (57.8%)	2	家計の状況(所得・消費) (55.8%)
家族関係 (39.3%)	3	家族関係 (39.8%)
精神的なゆとり (36.0%)	4	精神的なゆとり (29.0%)
就業状況(仕事の有無・安定) (24.7%)	5	趣味・社会貢献などの生きがい (15.4%)

2) 中学生・高校生アンケート結果概要

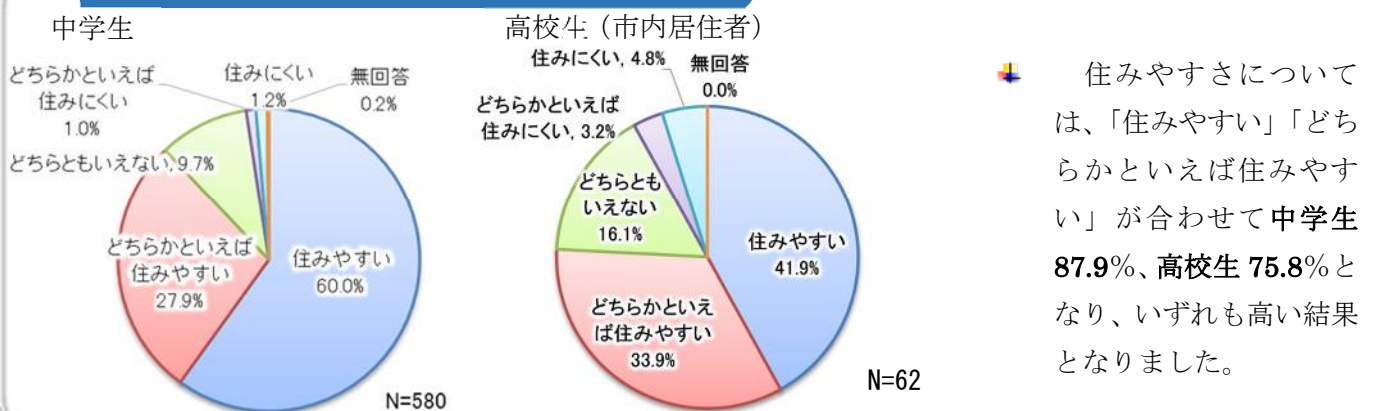
■ 調査の概要

対 象	市内中学校 4 校及び石橋高校、小山北桜高校の第 2 学年
手 法	学級毎に教室にて配布・回収
実施時期	平成 26 年 7 月
回 収 数	988 名 (中学生 580 名、高校生 408 名)

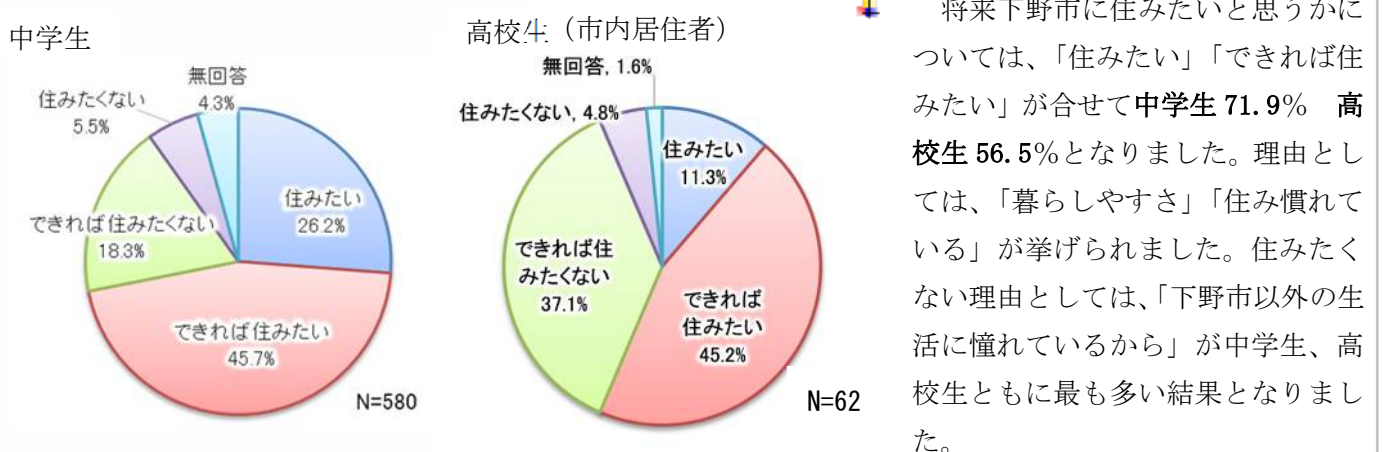
下野市のことをどう思うか



下野市の住みやすさについて



下野市への居留意向について



自慢できるものや将来に大切に残したいもの

中学生は、自然環境⇒公園・広場⇒かんぴょうの分類順に意見が多く、
高校生は、自然環境⇒観光施設・資源⇒安全安心の分類順に意見が多い結果となりました。

～少数意見～

- ・下野市内4つの中学校の生徒会が集まって話し合える環境（中学生）
- ・学校の4階から見る下野市はとてもおだやかに見えて景色がとてもきれい（中学生）
- ・小学校の時に広瀬寿雄市長に全員銅メダルをもらい大切にしている（高校生）

下野市がどのようなまちになってほしいと思うか トップ5

・中学生、高校生ともに最も多いのは「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」
次いで「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」となっています。3番目に
多いのは、中学生で「子どもから大人まで文化、スポーツ活動など楽しめるまち」高校生で
「道路、上下水道などの生活環境が整い便利で暮らしやすいまち」となっています。

■ 中学生 上位5位

- 1位. 水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち (56.4%)
- 2位. 交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち (51.4%)
- 3位. 子どもから大人まで文化、スポーツ活動など楽しめるまち (34.7%)
- 4位. 観光客が訪れる魅力ある観光のまち (20.5%)
- 5位. 子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち (19.7%)

■ 高校生 上位5位

- 1位. 水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち (43.6%)
- 2位. 交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち (34.8%)
- 3位. 道路、上下水道などの生活環境が整い便利で暮らしやすいまち (22.3%)
- 4位. 子どもから大人まで文化、スポーツ活動など楽しめるまち (18.9%)
- 5位. 子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち (15.2%)

下野市行政組織機構の見直しについて

1. 見直しの趣旨

平成28年度の新庁舎開庁に伴い、新庁舎にふさわしい行政組織機構の見直しを行う。(下野市行政組織機構の見直しに関する基本方針：平成24年度制定)

2. 基本方針

- ① 意思決定が明確で、効率的で柔軟性を持った組織
- ② 市民にとって分かりやすく、利用しやすい組織
- ③ 市民から信頼され、頼りにされる組織

3. これまでの取組み

新たな行政課題に対応する観点から、

- ① 総合政策課内に「公有資産活用グループ」を設置(平成26年度)
⇒公共施設の将来の適正なあり方の検証
- ② 「児童福祉課」→「こども福祉課」へ課名変更(平成26年度)
⇒市民の利便性の向上を図るため、幼稚園業務(教育委員会)を「こども福祉課」に統合、窓口の一元化

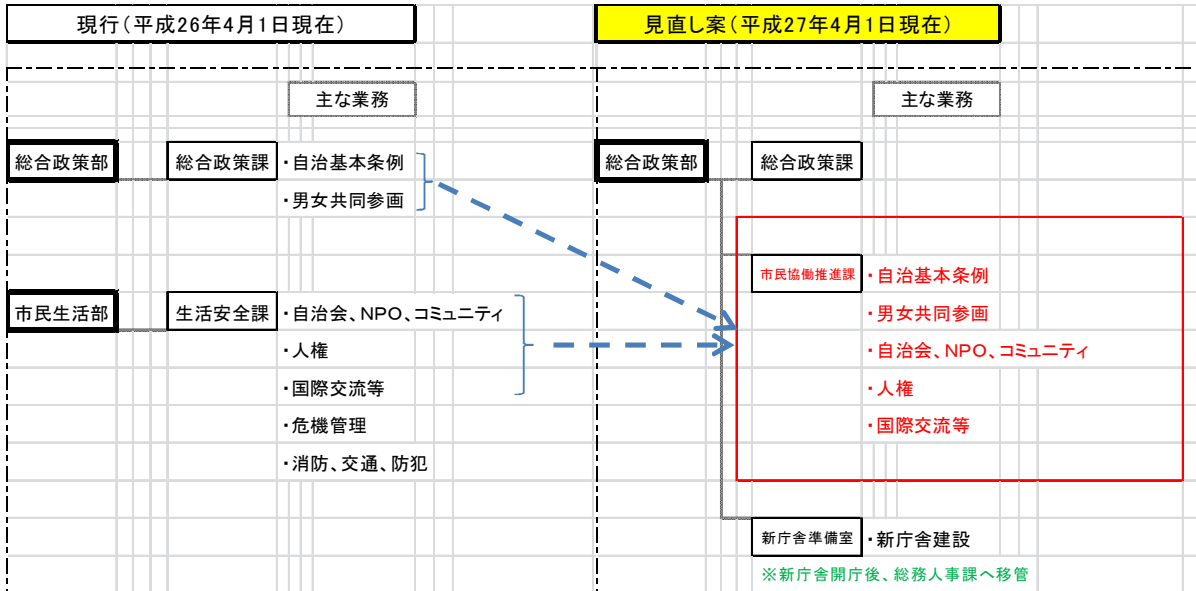
4. 見直し(移行)の時期

市民ニーズに即応するとともに、スムーズな新庁舎の開庁を迎えるため、新組織体制への移行は平成27年度から前倒しして実施

5. 主な行政組織機構の見直し（案）

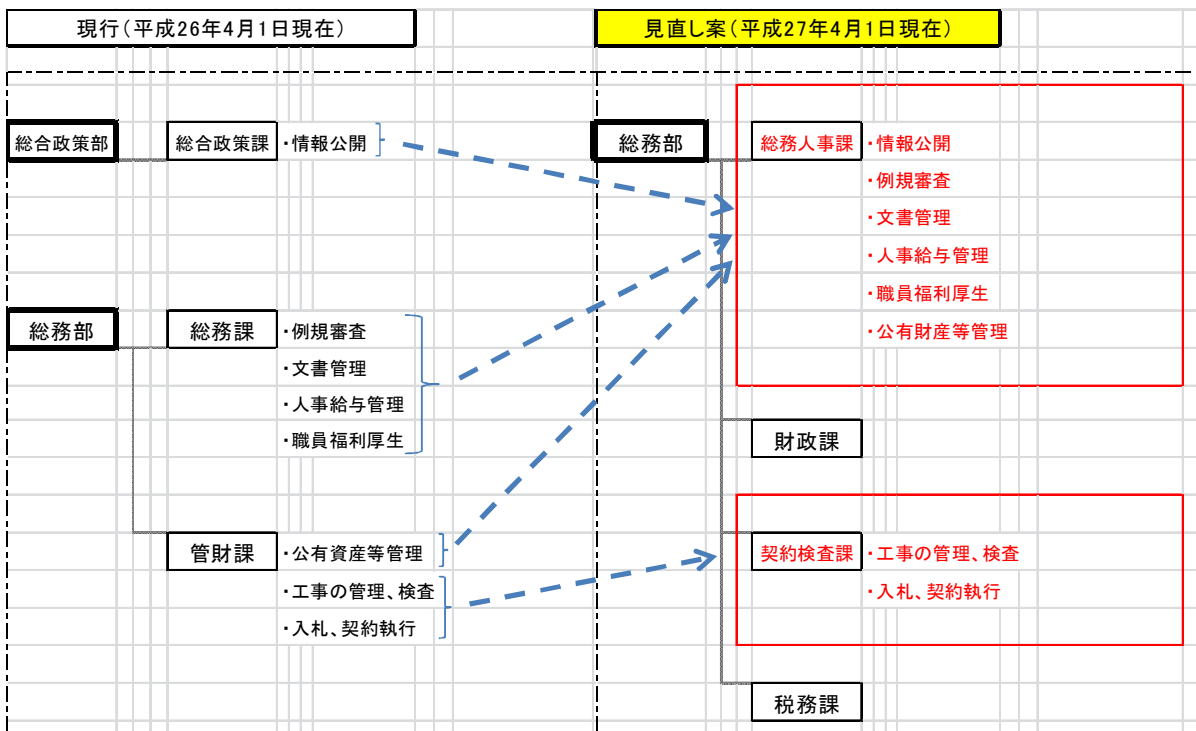
① 「市民協働推進課」の新設

- ・自治基本条例の制定を踏まえ、市民協働による「まちづくり」に特化した「市民協働推進課」を総合政策部に新設



② 総務部の再編

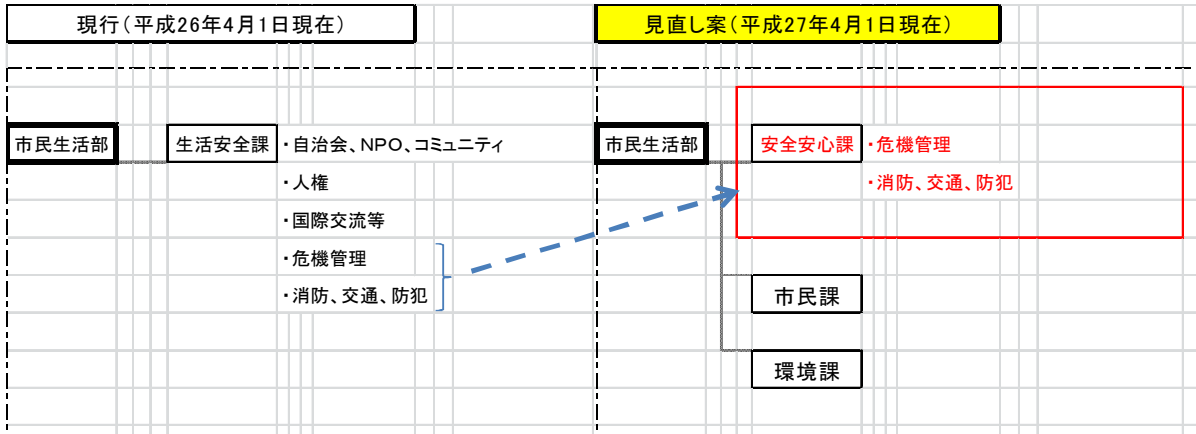
- ・工事管理及び検査部門の強化を図るため、管財課を「契約検査課」に課名変更
- ・総務課に全庁的な財産管理事務を統合し、「総務人事課」に課名変更



③ 市民生活部の再編

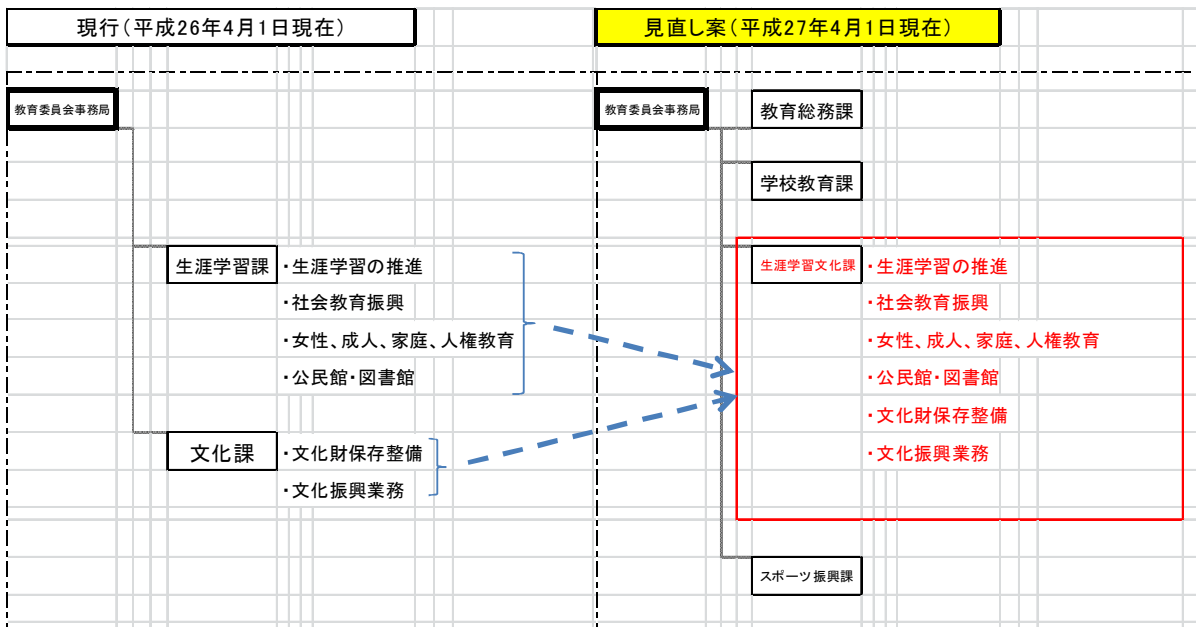
・ 危機管理体制の充実強化を図るため、生活安全課を「安全安心課」に課名変更

・ 市民生活関連業務を新設する「市民協働推進課」へ移管

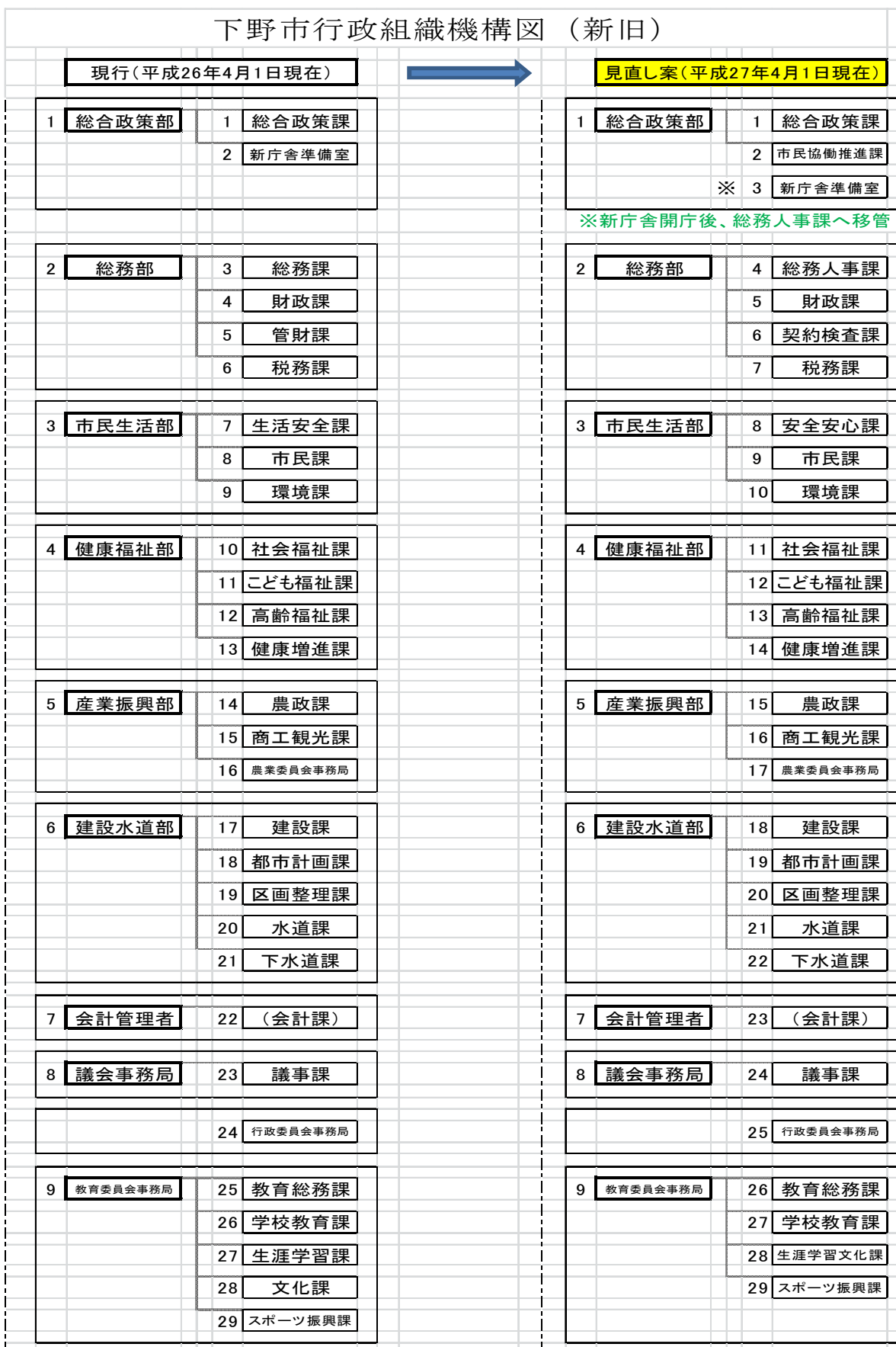


④ 教育委員会事務局の再編

・ 文化部門の業務推進の効率化を図るため、生涯学習課と文化課を整理統合し、「生涯学習文化課」に課名変更



6. 組織機構図



瓜田瑠梨（まろに☆えーる）下野市特別住民登録第 1 号記念

（商工観光課）

下野市特別住民票交付式 企画書（案）

日 時：平成 27 年 1 月 11 日（日） 午後 1 時～1 時 40 分

（販売等は、午前 10 時～午後 4 時）

場 所：道の駅しもつけ イベント広場屋外ステージ、大会議室等

内 容（1）特別住民票第 1 号交付式（瓜田瑠梨の声優小林元子さん、カンピくん）

（2）小林元子さん & 広瀬市長 トークショー

・司会：とちぎテレビMC

（3）ボイスコミック「まろに☆えーる」上映

（4）かんぴょうPR

①かんぴょう関連資料の展示

②かんぴょう汁の試食（無料配布）

③かんぴょう製品販売

・かんぴょうのきんぴらまん、パンプキンスイーツまん、とちおとめまん、ぎょうざドック（フタバ食品）

・下野ブランドかんぴょう製品等

（かんぴょうの八幡巻、かんぴょう入り五色餃子、あぶみ瓦、風車クッキー）

（かんぴょうバーガー、かんぴょう入りコロッケ）

（5）「まろに☆えーる」ブースオープン（情報交流館内）

・まろに☆えーる関連資料の展示

・瓜田瑠梨の等身大パネル、のぼり旗、ポスター等の設置

・まろに☆えーる関連グッズの販売

（6）近隣幼稚園、小中学校等による演奏等

（7）とちおとめ 25 ショー（道の駅しもつけ事業）

広報周知 ・下野市広報紙（1月号掲載）、下野市ホームページ掲載

・成人式（1/11 当日）会場でチラシ配布、ポスター掲示 など

・とちぎテレビによる告知

・当日、とちぎテレビのニュース取材あり

まろに☆え〜る 住民票 A4 表



うりた るり
瓜田 瑠梨

★住 所 栃木県下野市夕顔 1 丁目
★生年月日 1 月 10 日 (かんびょうの日)

ある日、実家で収穫したかんびょうが妖精となり「かんびょうをもっと広めてほしい」と頼まれる。同じ境遇の野乃花、愛実と共にまろに☆え〜るを結成、かんびょうの妖精「かびょーん」とともにご当地アイドルとして栃木県のかんびょうを広めるために活動中。かんびょう割く技術やかんびょう料理研究などかんびょうへの熱意は人一倍熱いが、素直にかんびょうが好きだと言えないツンデレな一面も・・・

まろに☆え〜る
©PAPA&STYLL

見 本

栃木県下野市長
下野市 広瀬寿雄

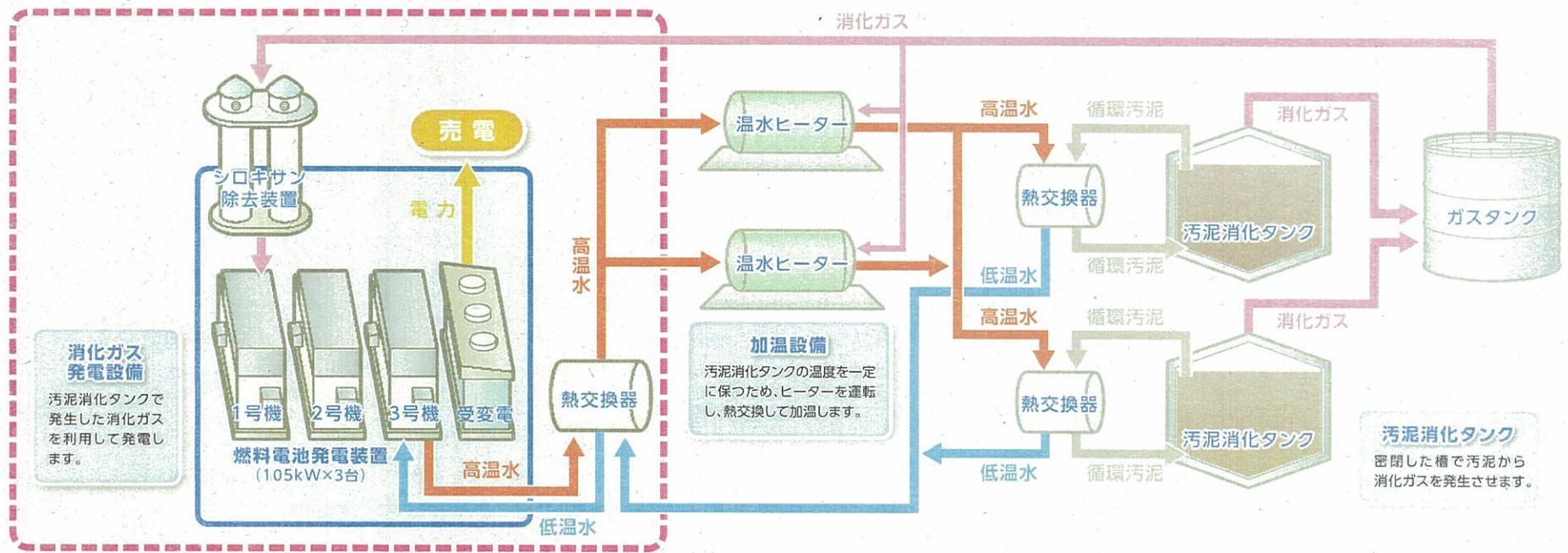
複写

NO.01234

この住民票は「まろに☆え〜る」特別住民票版として発行しています。したがって、その他の目的には使用できません。

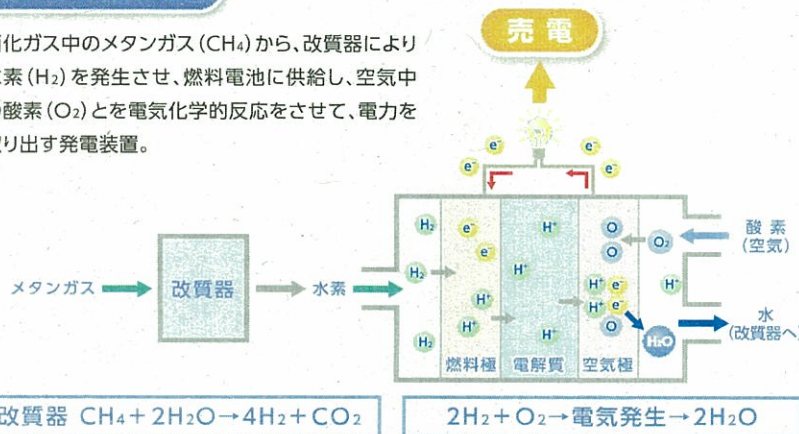


県央浄化センター 消化ガス発電設備 設備概要



燃料電池の原理

消化ガス中のメタンガス(CH₄)から、改質器により水素(H₂)を発生させ、燃料電池に供給し、空気中の酸素(O₂)とを電気化学的反応をさせて、電力を取り出す発電装置。



設備の特徴

1 電力発電量

年間約130万m³発生した消化ガスから、約250万kWh/年を発電します。
※一般家庭の約700世帯分の年間電力使用量に相当。

2 下水道資源の有効利用

下水汚泥の処理工程にて発生する消化ガスを燃料として発電することで、下水道資源の有効利用を図ります。

3 コージェネレーションシステム

発電機からは、電力のみならず、排熱を温水にて回収する、コージェネレーションシステムを構築することで、汚泥消化設備の加熱エネルギーとして有効利用します。

4 再生エネルギーFIT認定(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)

電気事業者による再生可能エネルギーに関する特別措置法に基づく発電設備として、下水汚泥を利用した発電では、全国初の認定を受けました。

5 竣工 平成27年1月

6 工事費 4億2千万円

第9回天平マラソン大会エントリー数

(スポーツ振興課)

種目	対象	コード	スタート時間	ナンバー カード色	参加者
ハーフマラソン (21.0975km)	男子 高校生以上39歳以下	01	10:00	白	204
	男子 40歳以上	02			502
	女子 高校生以上39歳以下	03			37
	女子 40歳以上	04			55
天平コース (10km)	男子 高校生以上39歳以下	10	10:45	赤	99
	男子 40~49歳	11			73
	男子 50歳以上	12			124
	女子 高校生以上39歳以下	13			37
	女子 40以上	14			37
うすずみコース (5km)	男子 高校生以上49歳以下	05	9:55	黄	69
	男子 50歳以上	06			59
	女子 高校生以上	07			57
	中学生男子	08			137
	中学生女子	09			40
かみびょうコース (3km)	小学生男子 (5.6年生)	19	11:25	黄緑	191
	小学生女子 (5.6年生)	20			45
むらさきコース (2km)	小学生男子 (3.4年生)	17	11:15	水色	133
	小学生女子 (3.4年生)	18			39
おやこコース (1km)	親子ペア (小学1~2年生とその父親)	15	11:00	ピンク	73
	親子ペア (小学1~2年生とその母親)	16	11:05		40
合計					2,051

2,051組(2,164名)

第9回

資料10-2

(教育総務課)

下野市教育のつどい

下野市の教育・文化・スポーツの振興を図るため、
教育関係者はもとより市民の皆さんのご参加による
「教育のつどい」を開催します。
どなたでも参加いただけます。
お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 **2015.1.24(土)**

- 午前 9:00 教育委員会表彰
午前 10:00 子ども未来プロジェクト
(中学生による発表)
午前 11:00 記念コンサート
(ピアノ&尺八)

「忘れられない、あの日のために」

出演者 ~被災地を訪ねて~
ピアノ・尺八 岡田 裕子
ピアノ 篠原 文子

要約筆記あり

主催 下野市教育委員会

問合せ 下野市教育委員会事務局 教育総務課 ☎52-1117

講演会のお知らせ

「2015年政治と経済の展望」

～報道から見たこれからの日本の姿～

TBS「朝ズバッ!」などでおなじみの杉尾氏による講演会を開催します。
 報道の現場から見た日本の姿、2015年政治と経済の展望と題して、今後の日本経済の行方を
 わかりやすくタイムリーな話題をお話し頂きます。
 是非、この機会にご聴講下さい。

■講師 **杉尾 秀哉** 氏 (すぎお ひでや)

 TBS テレビ報道局/解説・専門記者室長



《プロフィール》

1957年、兵庫県生まれ。

1981年、東京大学文学部社会学科卒業後、TBSに入社。報道局
 配属となり、以後、報道局一筋で活躍。「ニュースの森」キャスター
 を経て、1988年ワシントン特派員、同支局長。2007年編成製作
 本部報道局に移り、同局編集センター解説委員となる。

現在 TBS 特別解説委員として「みのもんたの朝ズバッ!」など、
 多数出演中。

日時

平成27年2月5日(木)
 15:30~17:00

場所

道の駅 しもつけ
 (下野市薬師寺3720-1)

主催

下野市

【申込み・問合せ先】

下野市 産業振興部商工観光課
 TEL. 0285-48-2112
 FAX. 0285-48-1424



第14回 栃木の

かんぴよ祭り

2015



栃木のかんぴよう

かんぴよう料理の**無料**試食
かんぴようみそ汁と卵とじ汁 ※無くなり次第終了

かんぴよう太巻(幸運巻き)
早食い競争 **女性限定**
参加無料
第1部: 11:30 / 第2部: 13:00

栃木県立小山北桜高等学校による
無料試食
かんぴようカレーパン
かんぴようロールカツ ※無くなり次第終了

2015年
日時 1月24日(土)
10:30~13:30 (雨天決行)

場所 道の駅しもつけ



かんぴようボウリング

球の代わりに「ふくべ」を投げ、
当たった商品を賞品としてもらえます。
参加費: 200円のチャリティー
どなたでも参加できます。
※景品がなくなり次第
終了となります。

チャリティーイベント

チャリティー食品バザー

県産味付かんぴようと
海苔の1セット &
かんぴよの販売
安値販売!

県産カットかんぴようつかみ取り

2cmカットのかんぴよを
片手1回でひとつかみ。
参加費: 1回100円の
チャリティー

お問合せ 栃木県干瓢商業協同組合 TEL 0285-53-0212 <http://www.kanpyo.jp>

● 主催: 栃木県干瓢商業協同組合 ● 共催: 栃木県かんぴよう生産流通連絡協議会
● 後援: 栃木県、栃木県中小企業団体中央会、JA おやま、一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会、歴史とロマンのかんぴよう街道推進協議会